

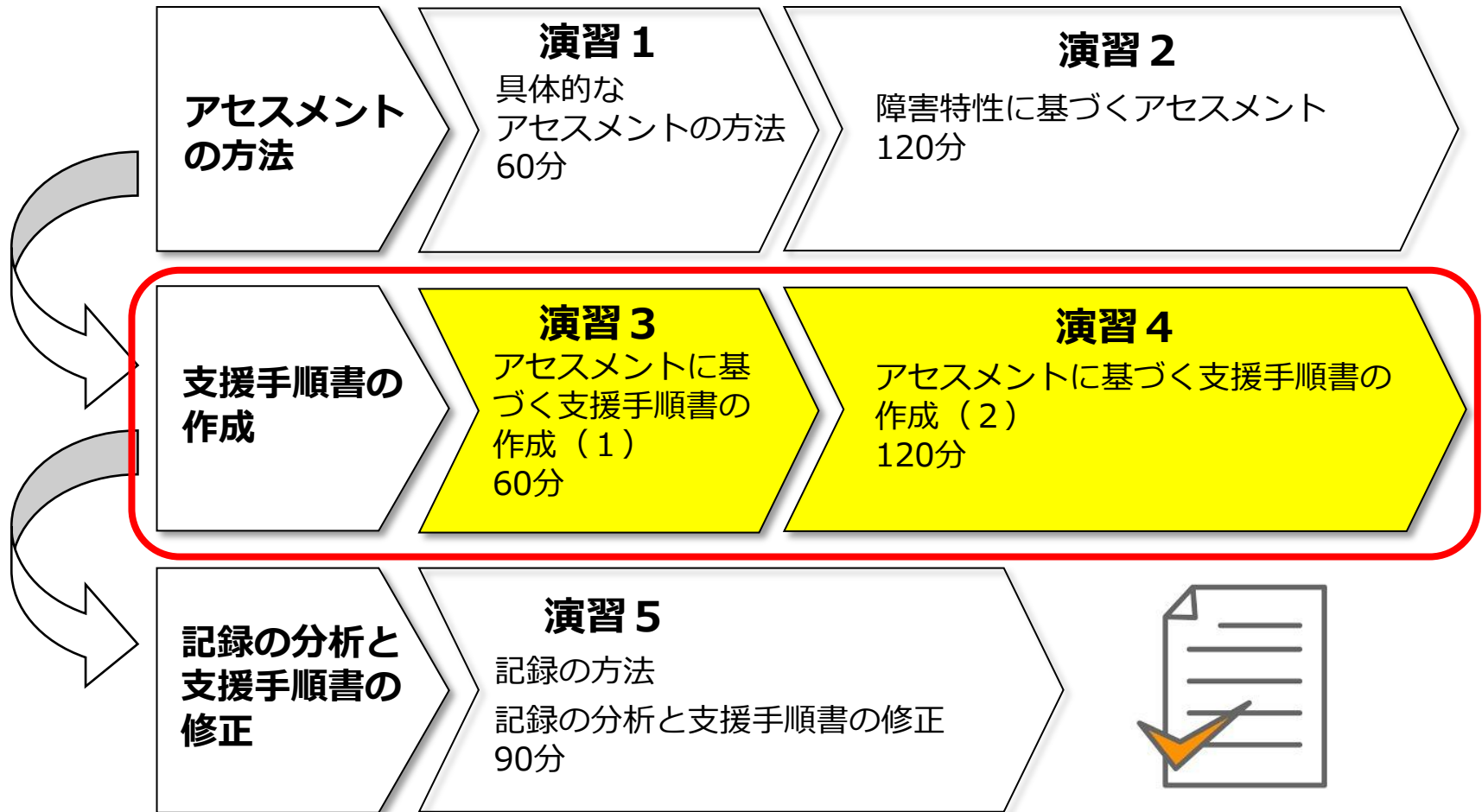
# 手順書の作成

- アセスメントに基づく支援手順書の作成（1）
- アセスメントに基づく支援手順書の作成（2）

## この時間で学ぶこと

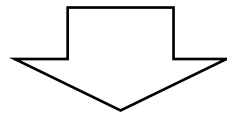
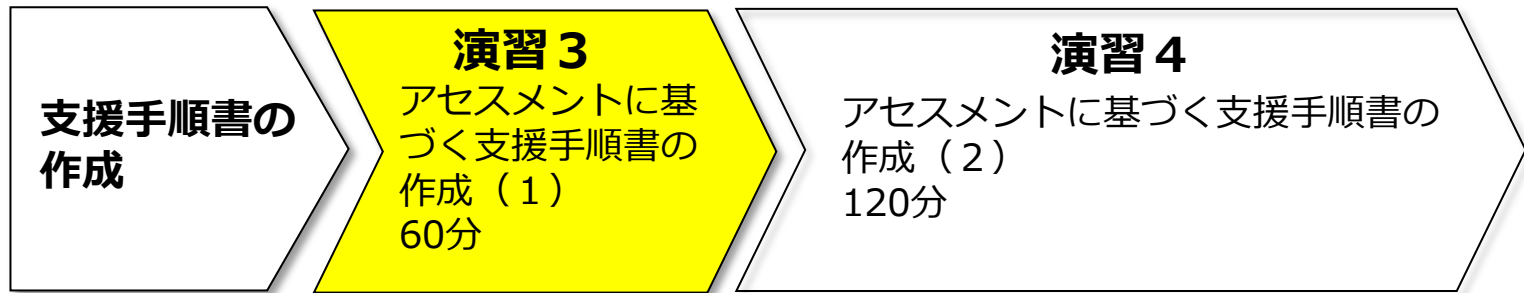
- この時間では、支援者が統一した支援を実施するために必要な、障害特性に合わせた支援手順書の作成方法を学びます。

# 演習の流れ



# 手順書の作成

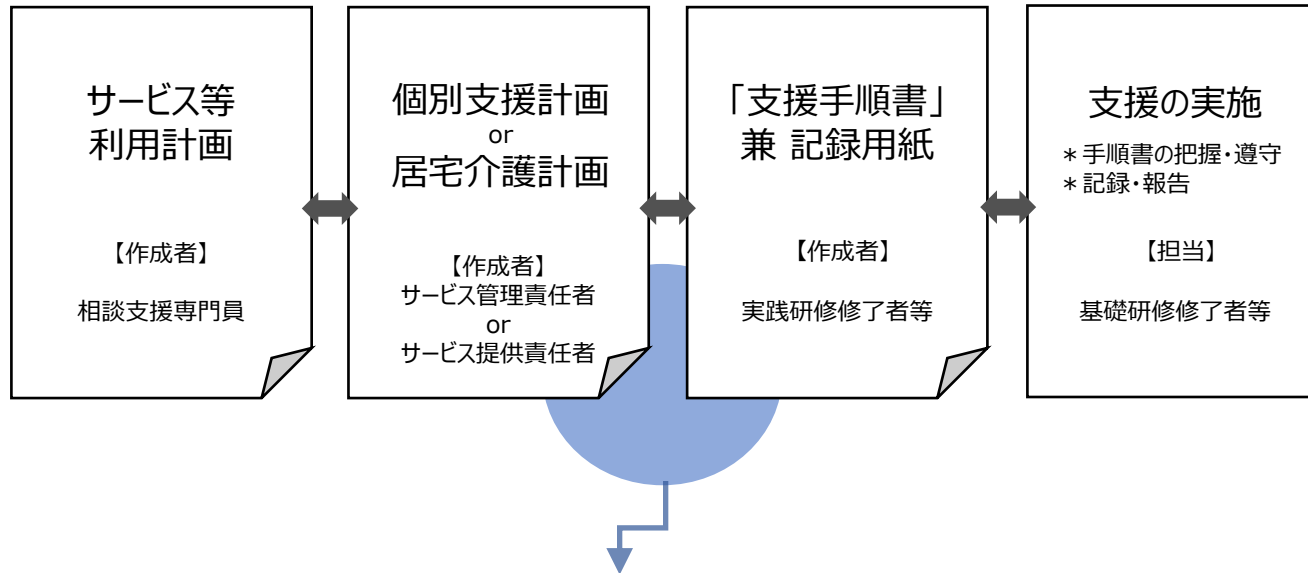
- ・ アセスメントに基づく支援手順書の作成（1）



- i) 支援手順書について
- ii) 支援手順書の作成
  - 氷山モデルの完成
  - 活動の手順を決める

i ) 支援手順書について

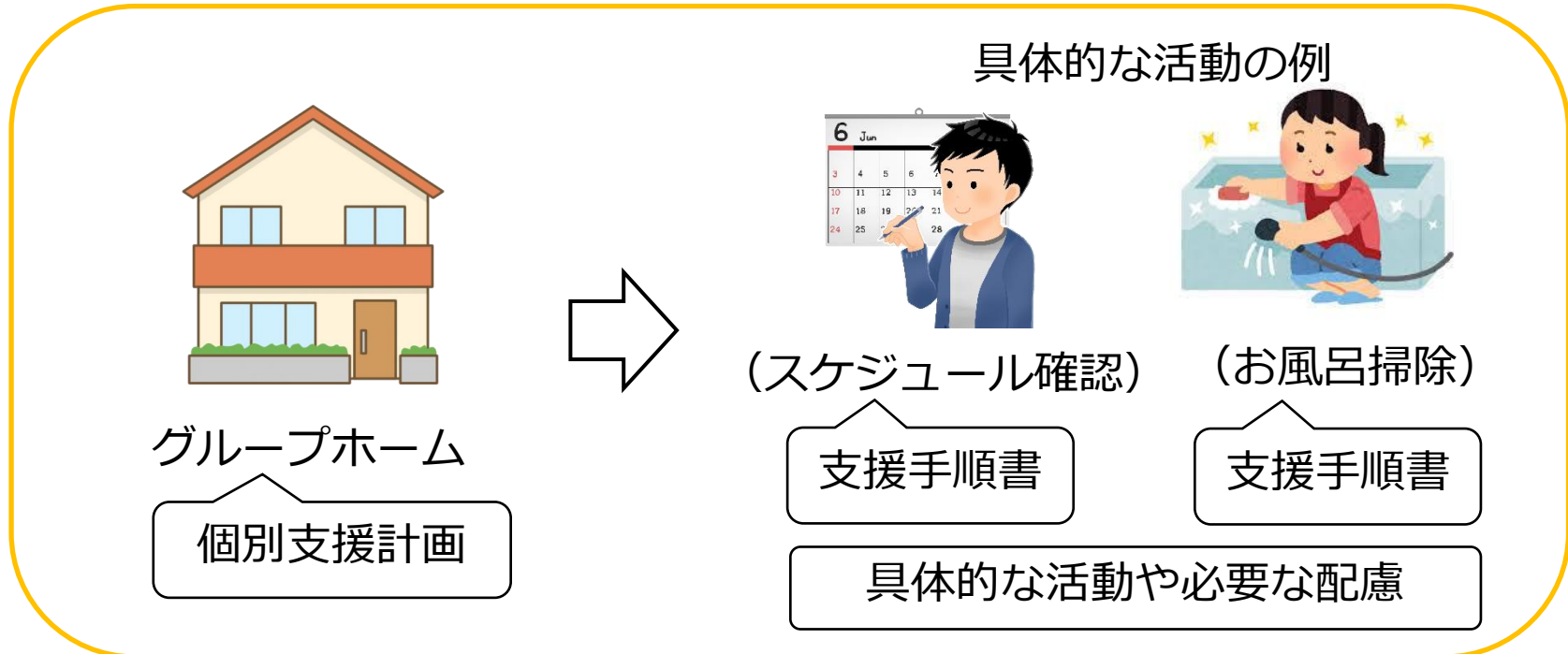
# 個別支援計画と支援手順書の関係



強度行動障害の支援においては、個別支援計画や居宅支援計画といった大まかな支援内容では、適切な支援を行うことが難しい。障害特性に配慮した留意点を整理し、日々の日課や各活動の詳細を決め、時間単位で各活動をどのような流れで行っていくかを詳細に記した「支援手順書」が必要となる。

# 支援手順書

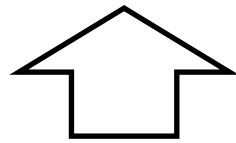
個別支援計画の内容から、具体的な活動とそのスケジュール・必要な配慮の方法などをその人に合わせて詳細に記入したもの





現場で支援を実施するときには、支援手順書に沿って支援することが大切

= 本人の特性に合わせた統一した支援



現場で支援する人が統一して支援ができるように、根拠があり、分かりやすい支援手順書を作成することが大切



## ii ) 支援手順書の作成

※今回使用するシートは支援手順書の一例です。  
支援手順書に決まった様式はありません。

## ○氷山モデルの完成

補助シートを使って作成した氷山モデルを完成させます。

必要なサポートに記載した「支援のアイデア」と「強み（ストレングス）」を活かした支援の具体的な内容を考えます。

# グループワーク | 必要なサポートの具体的な内容を考える

1. 必要なサポートの具体的な内容をグループ  
で話し合います

※氷山モデルシート（グループ用）に記入）

課題となっている行動  
**作業中に自傷をする**

本人の特性

環境・状況

**「支援のアイデア」や「活か  
させそうな強み」の内容を  
根拠にして具体的なサポ  
ートの方法を記入する。**

必要なサポート

支援のアイデア

具体的なサポート

本人の強み→活かさせそうな場面・状況

# ○活動の手順を決める

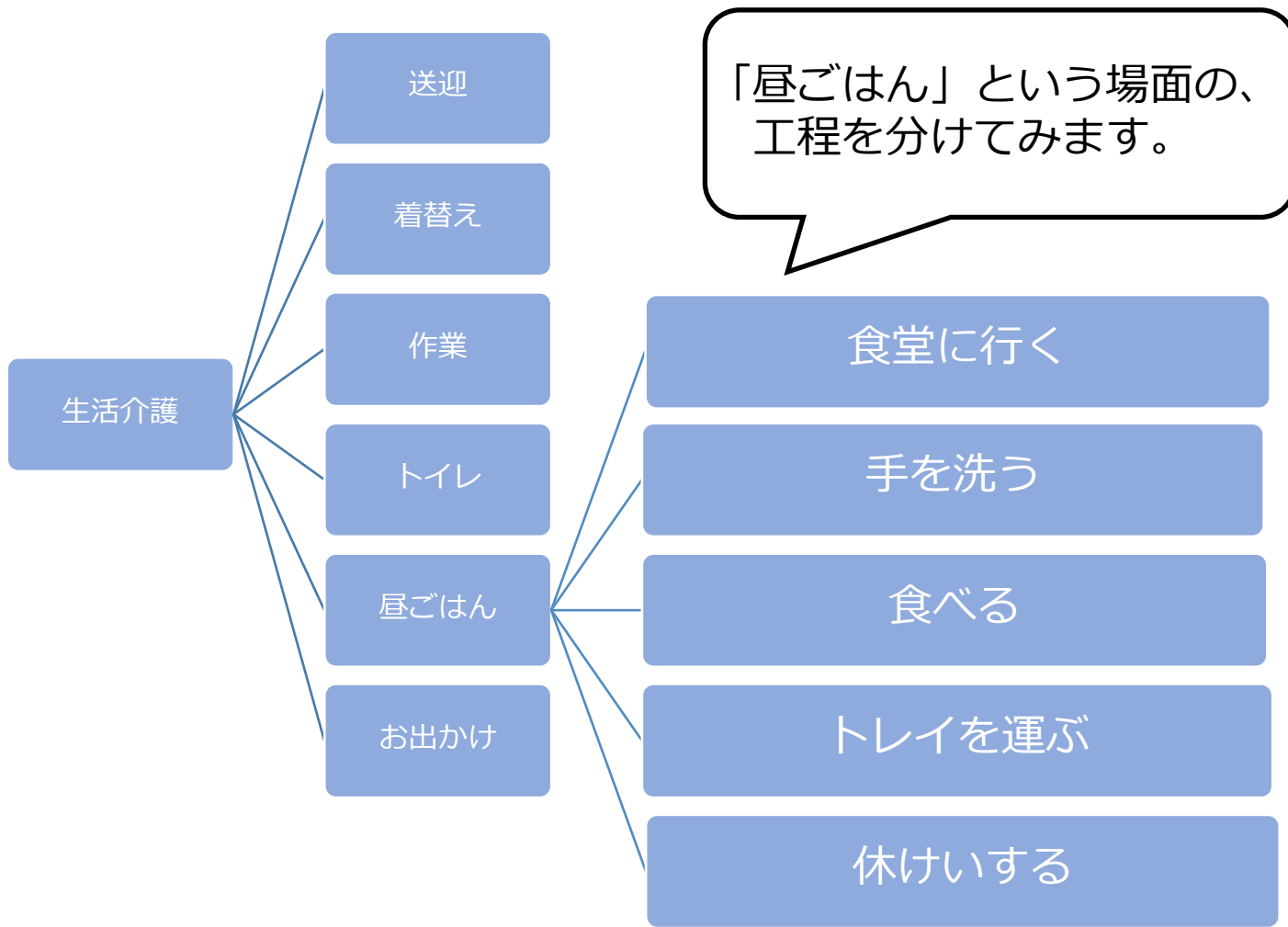
## 1. 場面を分ける

生活介護事業所での活動を、  
場面ごとに分けてみます。

生活介護

- 送迎
- 着替え
- 作業
- トイレ
- 昼ごはん
- お出かけ

## 2. 活動の工程を分ける





# 支援手順書に 落とし込む

## 支援手順書/記録用紙

### 【作業場面】

日付け	2000年0月×日	氏名	田中正則さん	記入者	支援員B
工程	本人の動き	支援者の動き・留意点		本人の様子(記録)	
事前準備					
食堂に行く					
手を洗う					
食べる					
トレイを選ぶ					
休けいする					

# 身近なことの工程を考えてみましょう

カップラーメンを作る工程  
を考えてみましょう。

1.

2.

3.

4.

5.

.

.

.



## 個人ワーク | 活動の工程を考える

1. 田中さんの作業の場面での工程を考えます。
2. 支援手順書に工程を記入します。

# グループワーク | 活動の工程を考える

1. 田中さんの作業の場面での工程を共有します。

# 工程の共有

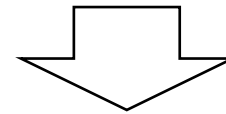
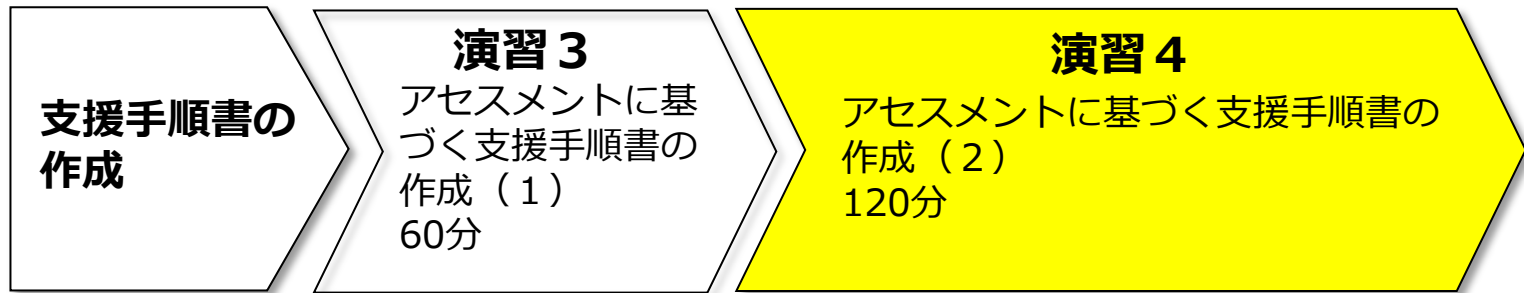
支援手順書/記録用紙

【作業場面】

日付け	2000年0月×日	氏名	田中正則さん	記入者	支援員B
工程	本人の動き	支援者の動き・留意点		本人の様子(記録)	
事前準備					
移動					
作業①					
作業②					
作業③					
移動					
休憩					

# 手順書の作成

- ・ アセスメントに基づく支援手順書の作成（2）



## ii) 支援手順書の作成

- 本人の動きを想定する
- 支援者の動きや必要な配慮を考える





## 個人ワーク | 活動の手順を考える

1. 工程ごとに本人の動きを想定します。
2. 支援手順書に本人の動きを記入します。

# グループワーク | 活動の手順を決める

1. 場面ごとの想定される本人の動きをグループで共有します

※「支援手順書（グループ用）」に記入

# ○支援者の動きや必要な配慮を考える

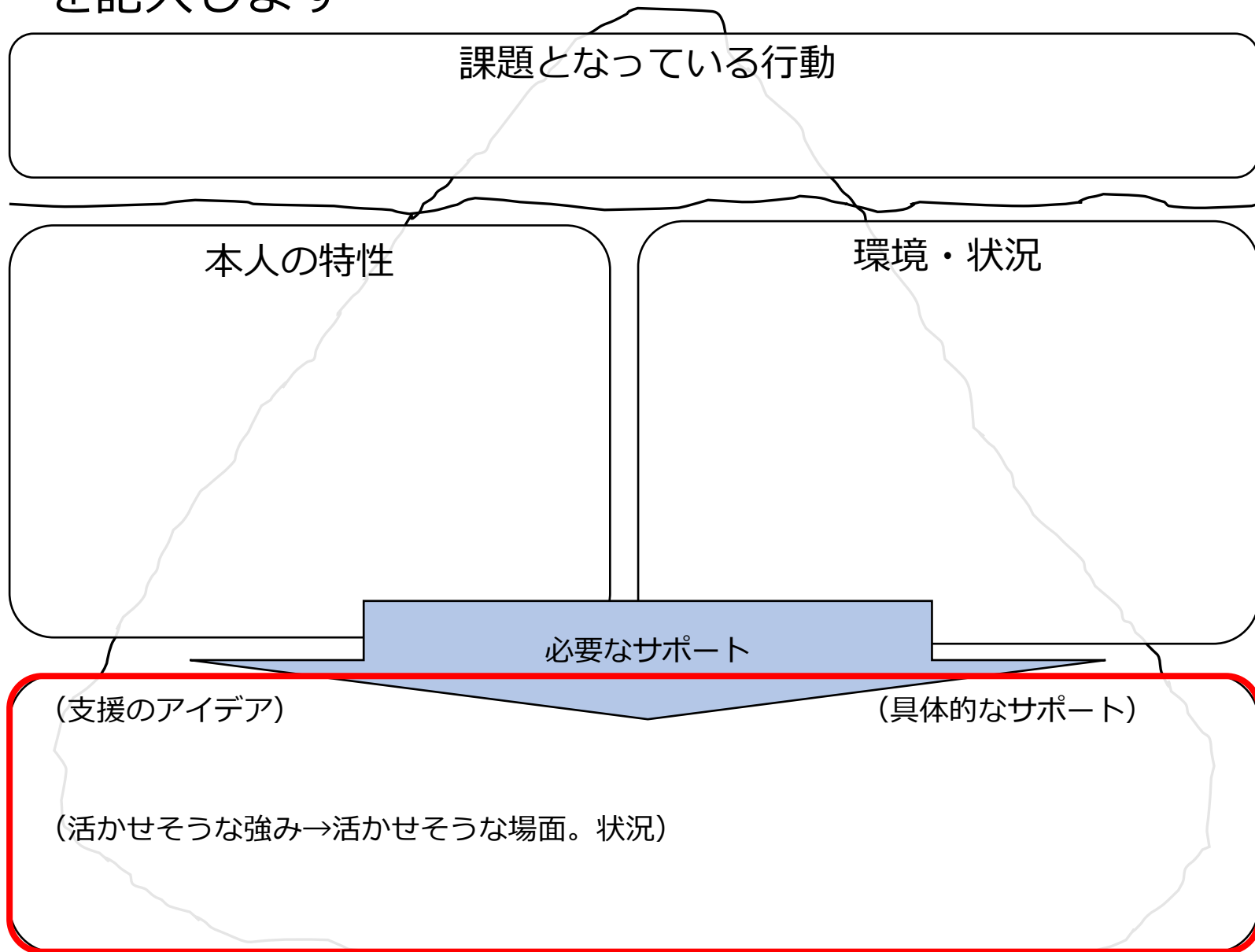
支援手順書/記録用紙

【作業場面】

日付け	2000年0月×日	氏名	田中正則さん	記入者	支援員B
工程	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子(記録)		
事前準備		3			
		2			
1					

1. 当日までに準備しておくことを記入する。
2. 冰山モデルの「必要なサポート」欄を根拠に、支援者の動きや必要な配慮を記入する。
3. 当日の事前準備を記入する。

必要なサポートを根拠に、支援者の動きや必要な配慮を記入します











# 個人ワーク | 支援者の動きや必要な配慮を考える

必要なサポートを根拠に

1. 当日までに準備しておくことを記入します
2. 支援者の動きや必要な配慮を記入します
3. 当日の事前準備を記入します

# グループワーク | 支援者の動きや必要な配慮を考える

必要なサポートを根拠に

1. 当日までに準備しておくことをグループで共有します
2. 支援者の動きや必要な配慮をグループで共有します
3. 当日の事前準備をグループで共有します  
(G用「支援手順書」に記入)

# 発 表

1. 活用した氷山モデルの必要なサポート
2. 当日までに準備しておくこと
3. 当日の事前準備の内容
4. 活動の手順と支援者の動きや必要な配慮

# まとめの講義

1. 強度行動障害が現れている方への支援は、支援者が統一した支援をすることが重要。そのために支援手順書を作成する必要があります。
2. 支援手順書は、アセスメントを根拠に作成することが原則で、工程ごとに丁寧に組み立てます。